

◇◇◇◇◇◇◇◇ 2学期開始！！ ◇◇◇◇◇◇◇◇

2学期がスタートしました。児童・教職員とも1学期のまとめや振り返りをし、それぞれが新たな目標を持って学校生活を始めました。終業式には3つのことを子どもに伝えました。まず一つ目は、「通知表をお家の人と一緒に読んでいろいろな話をしてほしい」ということ。それぞれの頑張りや担任の思いがいっぱい詰まった通知表、ゆっくり見てもらえましたか？二つ目は、年度初めに伝えた「毎日少しずつの努力を積み重ねてほしい。」「継続は力なり。」そして、「仲間と励まし合い競い合いながら一生懸命努力をして自分の力を高めてほしい。」「切磋琢磨。」について振り返ってほしいということ。三つ目は橋本小学校の合言葉「はしもとあい」について意識しながら生活することができたか、ということ。

「はしもとあい」については教職員が子どもの実態を100点満点で評価したその平均点をみなに伝えました。結果は次のとおりです。

は・・・はきものをそろえましょう。	71点
廊下や階段を走らない。	63点
し・・・姿勢を正しましょう。	69点
食事のマナーを守りましょう。	79点
も・・・目標を持ち目標に向かって頑張りましょう。	77点
と・・・友達を大切に。そして自分も大切にしましょう。	80点
あい・・・あいさつをしましょう。	74点

「友達を大切に。そして自分も大切にしましょう。」のポイントが高いのは、本校の研究主題のサブタイトルである「支持的風土のある学級」作りの成果であればうれしいです。しかし、「廊下や階段を走らない」「姿勢を正す」などのポイントが低いのは気にかかります。「はしもとあい」の内容は、人として基本となることで、子どものうちに気付き身につけさせてあげたい大切なことです。ご家庭の話題にも取り上げていただくとありがたいです。

さて迎えた2学期、これからしばらくは校外活動や各種出前授業で、学校以外の方々と学習したり活動をしたりする機会が多くあります。その学び中で知識を広め深め、人として豊かに成長してほしいと思います。

季節は秋本番。「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」と何をするにももってこいの時期となりました。いろいろなことにチャレンジし、それぞれにとって「実り多き秋」になることを願っています。

★★★★★ 2学期児童会役員決定！！ ★★★★★

先日2学期児童会役員の選挙があり児童会役員が決まりました。立会演説会では立候補者は堂々と自分の思いを伝える演説をし、また、投票する側もその内容をしっかりと聞き、自分の思いを持って投票する姿がありました。児童全員で児童会役員の取組に協力し、楽しく仲良く過ごせる学校にしていきたいと思います。

橋小五輪！～主役はおれたちだ～

このテーマものと10月6日(日)見事な秋晴れの中、令和6年度橋小運動会が開催されました。雨天で1日延期となりましたが、皆様のご協力のおかげで無事終わることができました。ご家族や地域の皆様にもお越し頂いて共に楽しめたこと嬉しく思います。またPTA役員の皆様を中心に準備・片付け等にお手伝いいただきありがとうございました。当日の子どもたちの姿は、ご覧いただいた通りどの場面を見ても見事に「主役」となって生き生きと輝いていました。本当に素晴らしかったです。しかし素晴らしいのは当日だけではなく。教職員そして子どもが共に「主役」を目指し、運動会への目標をしっかりと持ち、綿密な練習計画を立てそれを実行し見直し修正し完成形を作ってきた、その過程にも素晴らしいものがありました。子ども教職員共に大きく成長できた、本当にいい運動会でした。ありがとうございました。

『学習指導要領』について評価の時期でもあるので紹介します。

『学習指導要領』とは、文部科学省が全国どの学校でも一定の教育水準を保てるように定めている教育課程(カリキュラム)の基準です。これを基にして教科書や時間割が作られています。現在の学習指導要領には「これからの社会がどんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。」そして、「明るい未来を共に創ってほしい。」という願いが込められています。学校で学んだことが明日、そして将来につながるように子どもの学びをさらに進化させ、新しい時代に必要となる3つの資質・能力の育成を目指しています。その3つとは、

1. 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養。
2. 実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」の習得。
3. 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成。

学校ではこれらの育成を目指し、「主体的・対話的で深い学び」となるような授業改善と、教育活動の質を向上させるための「カリキュラムマネジメント」を2つの軸とし、取組を進めています。

育成すべき資質・能力の三つの柱



学習する子供の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。

